



# SHIMANE JOBGirl

## はじめに

この度は『JOBGirl』を手にとっていただき、ありがとうございます。

あなたは「島根県で働くこと」にどんなイメージを持っていますか？

『JOBGirl』は「島根県内の企業の魅力と、イキイキと自分らしく働く女性の魅力のどちらも発信したい」と少し欲張りな思いからスタートした企画です。

レポートするのは県内の女子大学生。未来の自分を想像しながら、女子学生目線で各企業の女性社員を取材しました。

多様な働き方・生き方に触れ、「島根県で働きたい!」と思ってもらえると思う嬉しいです。

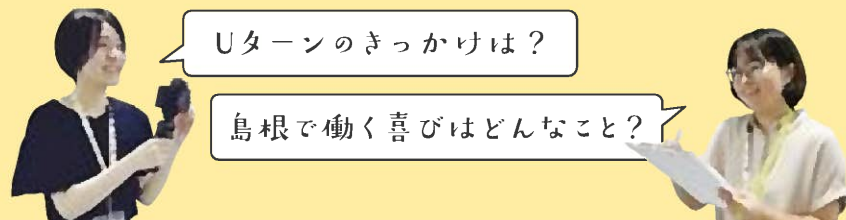
## JOBGirlとは



- ・イキイキと自分らしく働き、ONとOFFを素敵に楽しみ、企業の魅力を発信する島根県内の企業の女性社員
- ・島根県内の輝く女性社員を取材し、企業の魅力を発見していく女子学生リポーター

## インタビューについて

リポーターチームは14人の女子大学生。A～Eの5つのグループに分かれ、合計15社の企業を訪問。ロールモデルとなる社員を取材し、独自の目線でレポートします。



## 企業レポート一覧

もくじ

01 株式会社スズキ自販島根 ☆

02 トレンダーズ株式会社

03 株式会社ミック ★



グループ A

04 坪内宝珠会 たまち乳児保育園 ✨

05 株式会社バイタルリード

06 松江土建株式会社 ✨



グループ B

07 株式会社さんびる ✨

08 玉造グランドホテル長生閣

09 株式会社フェズ 🌸



グループ C

10 壽光会 たいしゃ保育園 🌸

11 ダットジャパン株式会社

12 株式会社玉造温泉まちデコ 🌸



グループ D

13 サン電子工業株式会社 🎵

14 株式会社しちだ・教育研究所 ☆

15 三菱マヒンドラ農機株式会社 🎵



グループ E



01

Interviewee

インタビューを受ける人

株式会社スズキ自販島根  
**小村 祐紀さん**  
 営業部所属。自動車の販売、点検や修理などの  
 アフターサービス対応などを担当。



リポーター  
**Reporter**

島根県内に8店舗を展開  
 自動車のセールスから  
 アフターサービスまで対応する  
 営業担当者取材!

1 Report

ジョブカフェ\*での出会いから新しい世界へ



当初は自動車に興味がなかった小村さん。就職活動中にジョブカフェのイベントに参加し、そこで出会ったのがスズキ自販島根。就職活動中の不安を採用担当へ相談したところ、最も親身になってくれたそうです。社内働く先輩女性社員の話を聞いたり、採用担当とメールのやり取りをしたりすることで、「こんな人たちと働きたい!」という思いが湧き、就職を決めました。その思いは、8年働き、出産してからも変わらないそうです。

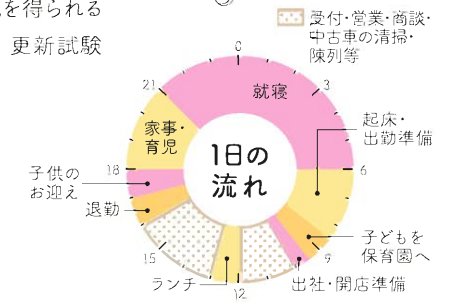
\*島根県での就職をサポートする施設。JR松江駅前松江テラス(松江勤労者総合福祉センター)3階にある窓口では、多様な情報を提供しカウンセリングなども対応。HPも充実しています。



2 Report

常に最新情報を学び、アップデート!

同社の営業職は、入社後、配属前に新入社員研修を行い、配属後に勉強会が始まります。勉強会の頻度は月2回、期間は約半年間。ですがやはり現場で実際に学ぶことが大切であり、実際に働いて、何かあれば上司や先輩に質問するようにしているそうです。また入社2年目・5年目といった節目にも都度、研修が行われ、新しく開発された自動車が入った時も勉強会があり、求められる新しい知識を得られる環境です。小村さんは自動車保険と査定資格を取得。更新試験が定期的に行われるため、その勉強もしているそうです。

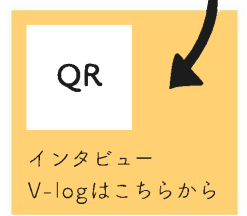


3 Report

ライフステージに合わせて仕事を続けられる職場



同社では妊娠・出産・育児・介護・子供の看護で休みを取ることができます。妊娠・産後1年の期間は申し出により残業免除も。また、子どもが小学3年生までは勤務の時短制度が利用でき、それぞれの事情に合わせて仕事を続けられるようになっています。産休中は給与の8割が支給され、ボーナスも一部出ます。最近、男性社員が1人育児を取得したとのことですが、「まだまだ育休を取る男性は少ないと思います。これからは積極的に利用してってほしいですね」と話していました。



アピールポイント



株式会社スズキ自販島根  
 〒690-0011  
 松江市東津田町1888-10  
 TEL.0852-21-5111  
<https://www.suzuki.co.jp/dealer/sj-shimane/>

全国に同じスズキグループの仲間がいて、家庭と仕事の両立支援制度といった各種制度も整っています。オンオフどちらも大切にしたい方にも◎車の知識に不安があっても大丈夫! 研修や勉強会などのサポートがあり、みんなゼロから段階的に学んでいきますのでご安心ください。





02  
インタビューを受ける人

Interviewee

トレンドーズ株式会社  
胡摩田 真衣さん  
自社メディアの記事作成、ディレクション、  
SNS運用などを担当。



SNSやWEB動画を活用し  
消費ニーズに対応する  
次世代型マイクロマーケティング  
ディレクション担当者取材!

1 Report 未経験からITマーケティングの世界へ

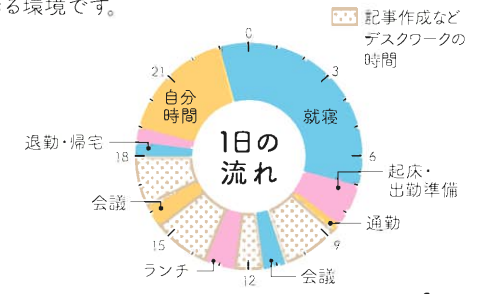


10年ほど東京でTV番組の制作をしていた胡摩田さんが、Uターンを決意したのは2018年のこと。前職を活かした転職先を探していたところ、マーケティングやメディア開発を行っているトレンドーズに出会いました。IT関連の業務は未経験ということもあり、「難しいのではないか」「男性ばかりの職場かも」と思っていたのですが、島根オフィスは全員女性。また、IT企業といっても記事を書く仕事が多いため、挑戦しやすかったと話していました。



2 Report 女性だけの島根オフィス、チームワークは抜群!

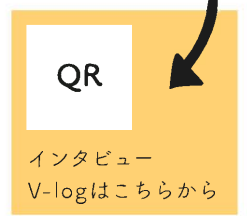
記事の書き方にはマニュアルがあり、東京の本社とチャットでコミュニケーションを取りながら学べたので習得しやすかったそうです。島根オフィスはできたばかりですがチームワークが良く、何か困難があっても助け合って解決しているそうです。介護休暇や、自身だけでなく家族の誕生日休暇もあり、業務をサポートしているため有給休暇がととても取りやすいと話していました。子育て中の人もいて、お子さんが熱を出したら在宅で作業するなど、柔軟な働き方ができる環境です。



3 Report 島根は、時間の感じ方も暮らしも緩やか



東京では電車で1時間程度かけての通勤が一般的ですが、大田に戻ってからは車で15分で通勤しているため、通勤手段や時間が最も違いを感じるそうです。また、東京では生活がスピーディーに感じるのに対して、島根では業務の進め方もプライベートも時間の流れを緩やかに感じています。同じ仕事内容をこなしても感覚が全然違うと話していました。また、東京より島根で働く方が家賃など生活費も少なく済むので、金銭的余裕も生まれるそうです。



トレンドーズ株式会社  
〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ259-5  
TEL.0854-86-8220  
<https://www.trenders.co.jp/>

アピールポイント

社員が気を付けるべき行動指針の中に「遠慮と年齢はゴミ箱へ」というものがあります。年齢や性別関係なく個を尊重し、自分らしく活躍できる刺激と機会を与えてくれる「想定外の自分に出会える」会社です。変化を恐れることなく、メンバー全員で新しいことに挑戦し続けています。





03

インタビューを受ける人

Interviewee

株式会社ミック  
田坂 鈴菜さん

サービス課所属、カスタマーエンジニア。松江市内の企業を中心に、複合機、PC、ネットワークの点検や保守などを担当



Reporter

レポートする人

三浦夏雅璃

中村夏望

三好萌日

最先端の技術で  
オフィスのICT環境を  
最前線で支える  
カスタマーエンジニアを取材!

1 Report 人と関わる技術職を目指して…

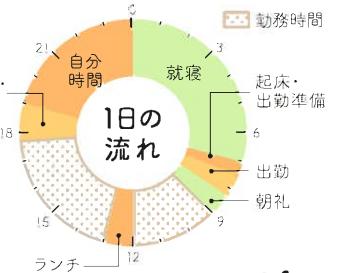


エンジニアを目指し松江高専に通っていた田坂さん。夢を目指す一方で、エンジニアの仕事はデスクワークが多いイメージもあり、「人と関わる仕事がしたい自分には合わないかもしれない」と感じ、進学が就職が最後まで迷っていました。そんな中、外回りの仕事が多くエンジニアの技術も活かせるミックを知り、入社を決意。現在は、複合機、PC、ネットワークの点検や保守などを中心に行うカスタマーエンジニアとして活躍。営業活動とエンジニアを合わせたような業務に携わり、現代の社会基盤ICTを最前線で支えています。



2 Report 充実の育成プログラムで着実に成長

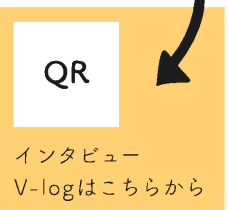
複合機だけでなく、ネットワークセキュリティ機器、ソフトウェア、システム構築・保守など企業活動を幅広くサポートしている同社。田坂さんは入社したばかりの頃、複合機やPCなど機械のことが何もわからなかったそう。ミックでは、入社後に3年間の育成プログラムが組まれています。通常業務やそれに必要な専門スキルはトレーナーがついて指導してくれるため、田坂さんは「おかげでスキルについて困ったことはない」と話していました。田坂さんの同期で文系出身の社員も、プログラムで専門スキルをしっかり身に付け活躍中です。



3 Report 社員のスキルアップを会社が応援!



技術習得に+αで個人で資格を取得することもあり、資格によっては会社から報奨金が出る場合も。田坂さんも現在「高度情報技術者」の取得に向けて励んでいます。勉強と仕事の両立は大変ですが、業務をスマートに片付けることで時間を捻出しているそうです。休みは比較的取りやすい環境。育休を利用する社員も多いそうです。また、アニバーサリー休暇や計画休暇など、会社で決められた休日などもあり、趣味や資格の勉強、息抜きなどをする余裕をもって働いています。



インタビュー  
V-logはこちらから

アピールポイント

【IT企業だけど文系活躍中!】  
IT企業＝「理系の仕事」とイメージしがちですが、ミックの社員は文系が6割を占めます。  
【女性も活躍中!】  
近年では、営業職・事務職に加えてエンジニア職（カスタマーエンジニア・プログラマ）の女性も増えています。



株式会社ミック  
〒690-0826  
松江市学園南2-10-14 タイムプラザ1階  
TEL.0852-27-0329  
<http://www.mic-ltd.co.jp/>



04

インタビューを受ける人

Interviewee

社会福祉法人坪内宝珠会 たまち乳児保育園

飯塚 薫さん

保育士。ベビールームの担任として食事や排泄を援助し、基本的な生活習慣が身につくよう保育を行っている。

### 1 Report

安心してお子さんを預けてもらえる場所



RELIEF

☆ 7歳年下の妹さんがいて、小学生の頃からお世話をする機会が多かったという飯塚さん。その当時から子どもが好きだったので、小学生の時点で将来の夢は保育士と決めていたそうです。

飯塚さんが保育士の夢を叶え、たまち乳児保育園で働き始めて3年。同園では20歳代から60歳代まで幅広い年代の方が働いています。今年31年目のベテランや、子育て経験がある保育士さんも多く、保護者に安心してお子さんを預けてもらえる環境です。



Reporter

レポートする人

仲田ひなた

内藤真美子

笑顔いっぱい

子ども達の心と体の

豊かな成長を支える

3年目の保育士取材!



### 2 Report

休日の豊かな時間が保育の充実につながる

「保育士は休みが少ないと思われがちなのですが、意外と休日があるんですよ」と飯塚さん。休日は散歩やバレーボールをしています。バレーボールは社会人チームに所属し、試合に出ることも。片栗粉粘土を作るなど、園で使う玩具の素材研究も休日に行っているそうです。「お菓子作りも好きで、月齢に応じた遊びの提供に役立っています」と話してくれました。



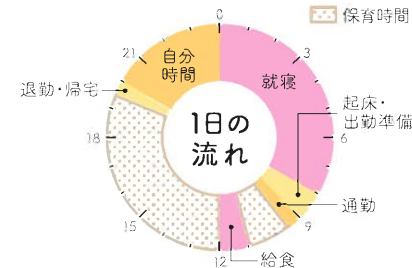
### 3 Report

保護者と共に子どもの成長を見守る

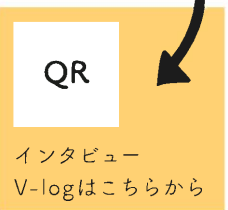


WATCH OVER

同園では毎月の誕生会をはじめ、七夕まつり、なかよし運動会、生活発表会やクリスマス会、おじいちゃんおばあちゃんありがとう会など様々なイベントがあります。飯塚さんの心に残っているのは夏の「3園合同のたまちこまつり」。暑い中で大変でしたが、人気キャラクターの着ぐるみを着て子ども達と一緒に参加できたのがとても楽しかったそうです。この仕事のやりがいは、子ども達の成長を保護者と共有できること。保護者と信頼関係を築けることも手応えになっているそうです。



Check



QR  
インタビュー  
V-logはこちらから

### アピールポイント

子ども達の笑顔や日々の成長を見ることができ、とても充実した毎日です。子育て真っ最中の職員も多く、産休・育休の取得・復帰率は、ほぼ100%です。女性にとっても働きやすい職場です。また、勤続5年ごとに表彰制度もあり、リフレッシュ研修旅行もあります。



社会福祉法人坪内宝珠会 たまち乳児保育園

〒690-0823 島根県松江市西川津町1610-2  
TEL.0852-60-1160  
<http://tamachi-matsue.jp/tamachi/>



05

インタビューを受ける人

Interviewee

株式会社バイタルリード

武田 侑子さん

総合計画部所属。2020年より主任職。  
新入社員の育成にも携わる。



仲田ひなた

内藤真美子

「交通」をキーワードに  
快適で安全な街づくりを  
コンサルティング  
入社4年めの主任を取材!

1 Report

文学部で身につけたスキルがコンサルタントに生きる



武田さんは公務員志望でしたが、合同企業説明会で、バイタルリードの社長にコミュニケーション力を褒められたことをきっかけに、コンサルティングなどを通じて地域住民と行政をつなぐ同社の仕事を学びました。民間の会社が行政の力になる点を魅力的に感じたそうです。大学では日本文学を専攻。伝わりやすい資料作りなどに、大学で得た力が生きています。「分野が違うからといって無駄になることはありません」と話します。

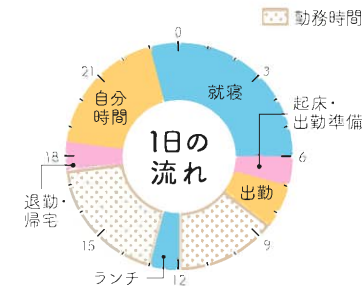


2 Report

通勤時間は音楽を聴いてモチベーションUP!

平日は8時間ほど勤務、帰宅後に自由に使える時間は2~3時間ほど。武田さんは車での通勤時間も個人の時間だと考え、移動中は好きなバンドの音楽を聞いてリラックスしたり、気分を上げたりしています。

プライベートは基本的にインドア派で、最近の趣味は野菜作り。今は小松菜とニンジン育てていて、成長がうれしく、食べるのを楽しみにしています。情報収集しながら服や化粧品などをネットショッピングすることも。給料の範囲内で楽しみながら貯金もできているそうです。



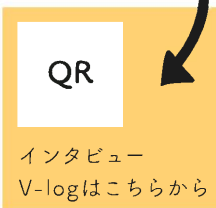
3 Report

成長とお客様の「ありがとう」がやりがいに



中四国各地で交通に関するコンサルティングの仕事があり、インフラ整備事業のための調査や、地域住民に理解してもらうため説明会などの運営も行っています。知らない地域や街をだんだん知っていき、好きになっていくことがやりがいにつながっているそうです。また、できなかったことができるようになると成長を感じ、お客様からの感謝の言葉も喜びです。「提案で地域を良くしていけるコンサルタントを目指しています」と話します。

Check



インタビュー  
V-logはこちらから



株式会社バイタルリード

〒693-0013 島根県出雲市萩村町274-2

TEL.0853-22-9690

<https://www.vitallead.co.jp/>

アピールポイント

「交通」をキーワードにまちづくりや地域公共交通の計画等を行っています。女性の技術者も活躍していて、学会発表や資格取得を通して技術力を向上させるために頑張っています。男女ともに働きやすい職場を目指した制度づくりと風土づくりに取り組んでいます。





06

インタビューを受ける人

Interviewee

松江土建株式会社  
竹谷 美里さん

入社7年、設計開発室所属。一級建築士として住宅設計などに携わる。1児の母。



Reporter

内藤真美子

仲田ひなた

豊かな街と暮らしを創る  
建築・土木・住宅事業  
仕事に育児に奮闘中の  
一級建築士を取材!

1 Report

松江にUターン就職。働きながら学び、一級建築士に

LEARN



竹谷さんが松江土建に就職したのは、同社で住宅事業が始まって間もないころ。新しい事業に関われることに魅力を感じたそうです。また、地元の島根と進学先の大分で就職先を迷っていたところ、家族から「戻ってきて」と言われたのも決め手の一つになりました。

入社後、一級建築士の資格を取得。当時は2年の実務経験が受験資格の条件で、また現場を見るほうが知識が身につくため、働きながら専門学校に通っていました。勉強をする時間が確保でき、同じ資格を目指す友達もできたそうです。



2 Report

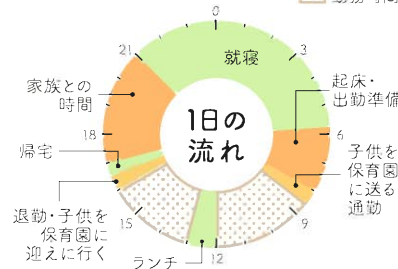
産休・育休から復帰。家族との時間を大切に過ごす日々

現在は1児の母となり産休から復帰。松江土建は産休制度が充実し、実際に直属の先輩も制度を使っていたので、躊躇なく産休・育休を取れたそうです。今はまだお子さんが小さく、仕事の時間を短縮しているため、平日のプライベートと仕事の割合は同じぐらい。土曜日は家事を中心にしていますが、日曜日はお子さんと遊ぶなど家族との時間を過ごしています。

今はあまり行っていませんが、独身時代は旅行が趣味だったそうです。「特に沖縄に行くのが好きで、海には入らなかったんですけど、沖縄の空気感を感じるのが好きだったな」と話します。



勤務時間



3 Report

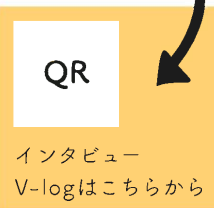
生活者として・親としての経験を設計に活かす!

USEFUL



設計開発室は設計の核となる場所。「部署のことは入ってから学ぶことのほうが多かったです。ここにいる以上プロであるべき」と竹谷さん。プロとして気をつけていることは、お客様のニーズ+αを提供することだそうです。お子さんが生まれてからは、建築に対する見方に変化も。家の中でどのような場所が子供にとって危ないかを考えるようになりました。キッチンの動線によって料理にかかる時間も大きく変わるため、使い勝手も以前よりこだわようになったそうです。

Check



インタビュー  
V-logはこちらから

アピールポイント

松江土建は、現在195名の社員のうち、28名の女性が活躍しています。設計部門では、お客様に対して、女性の視点を取り入れた「住まいや暮らし」の提案を行っています。また、建築・土木の現場職員として働く若手の女性社員もいます。仕事と子育てを両立するための育児休業や時短勤務などの制度が充実しており、働きやすい職場環境づくりにも積極的な会社です。



松江土建株式会社  
〒690-8513 松江市学園南2丁目3番5号  
TEL.0852-21-3521  
<https://www.matsue-doken.co.jp/>





株式会社さんびる  
**竹田 満里奈さん**  
 総務部人事秘書課、係長。社長秘書の業務とともに、新卒採用や新入社員研修を担当。



総合ビルメンテナンスから  
 公共施設の管理、イベントまで  
 地域の皆様をサポートする会社の  
 社長秘書・採用担当を取材!

**1 Report**

「会社の顔」としてポジティブな笑顔を!



社長秘書と新卒者採用担当を兼務している竹田さん。秘書の業務はスケジュール管理・調整がメインです。竹田さんは、社長へのアポイントメントを求めるお客様に接する際、「会社の顔」として応答することを心掛けています。電話での対応には、表情が見えない分「明るく・ハキハキ」とした声で応答することを意識。対面では声だけでなく、姿勢、笑顔も大切にしています。アポイントメントの対応をする際には、お客様の時間を考慮する必要があり、スピードも重要視しているそうです。

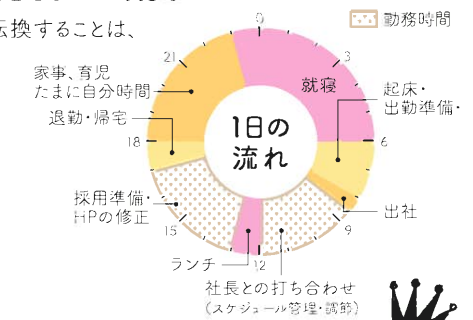


**2 Report**

思考の転換で「できない」を「できる」に

さんびるの経営方針書には「出来ませんはいません。出来る方法を考えてまずはやってみます。」という項目があります。上司・先輩ができる方法を考えてチャレンジする姿勢を見て、竹田さん自身も「頑張ろう!」という気持ちになるそうです。

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、毎年恒例のビジネスマナーなどを学ぶ新入社員研修が通常通り行えなくなりました。竹田さんは社長や同僚に相談し、ビジネスマナーのDVDを購入。その内容をもとに自ら指導役となって社内で研修を行いました。このように考えを転換することは、自身の勉強にも繋がるそうです。



**3 Report**

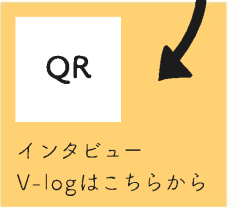
我が子とも仕事ともしっかり向き合う



1児の母であり、仕事と育児を両立している竹田さん。仕事が終わって保育園へ迎えに行き、息子さんが遠くから笑顔で駆け寄ってくる瞬間に幸せを感じるそうです。

「初めての育児は分からないことだらけでかなりの苦勞がありました」と竹田さん。息子さんが1歳半~2歳の間、夜泣きのため竹田さんの睡眠時間は4時間ほど。寝不足で疲労が溜まり、その頃の仕事は特に大変だったそうです。ご家族の協力も得ながら育児と向き合い、日々の業務に励んでいます。

Check



**アピールポイント**

さんびるの魅力は、アットホームな雰囲気と価値観の共有だと思います。私たち社員はお互いに役職ではなく名前呼び合います。役職による壁を感じる事がなく、何でも話しやすい雰囲気です。また、経営方針書による学びを行うことで、会社の思いや目指すべき方向性を共有しています。



株式会社さんびる  
 〒690-0045  
 島根県松江市乃白町薬師前3番地3  
 TEL.0852-26-0335  
<https://www.sanbg.com/>

# 08 Interviewee

インタビューを受ける人



玉造グランドホテル長生閣  
松鹿 紘未さん



玉造グランドホテル長生閣  
園山 恵里さん

# Reporter

リポートする人



若槻春花

三木芽衣

菅谷琴美

玉造温泉で200年続く  
歴史ある老舗旅館で  
世界に情報を発信する  
広報担当者取材!

## 1 Report

時代の波に立ち向かう旅館業を支えたい



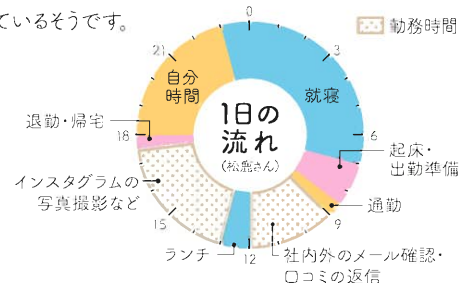
松鹿さんは金沢出身。昨年の夏に観光で玉造温泉に来た際、景観やにぎわいを見て温泉地で働きたいと思うようになりました。その後、結婚を機に島根へ移住。新型コロナウイルスの影響で旅館業が衰退しているのを目の当たりにし、「少しでも力になれば」と入社を決めたそうです。島根に来る前は生活面で不安があったそうですが、長生閣は従業員がそれぞれの個性を活かせ、女性が働きやすい環境でもあるため、今は長生閣に来て良かったと実感しているそうです。



## 2 Report

Instagramで魅力を発信

松鹿さんは広報の一環で長生閣のInstagramを担当。玉造温泉の温泉街や長生閣の話題をほぼ毎日更新し、投稿の際は、最新の情報を一番に伝えることを心掛けているそうです。ガラス面に映像を投影できる機器「カレイドスクリーン」を新しく館内に導入した際は、大画面に映し出された美しい花火の映像を投稿しました。また、英語が堪能な従業員の力を借りて、文章を日本語だけでなく英語でも書くことで、玉造温泉と長生閣の魅力を世界に向けて発信しているそうです。

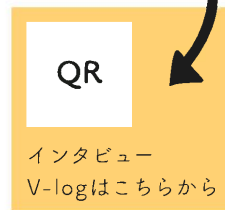


## 3 Report

女性のアイデアが愛される宿を育む



長生閣は女性目線の宿づくりをコンセプトの一つにしているため、女性従業員の意見を積極的に取り入れています。製菓専門学校出身の女性社員が、宿のレディースプランにスイーツを提案し採用が決定。フルーツグラタンやスフレなどの導入が検討されています。また、メニュー開発のために他県のお菓子の会社で研修した人もいするなど、従業員をバックアップしてくれる環境があり、女性目線のプランを展開できる職場だそうです。



## アピールポイント



玉造グランドホテル長生閣  
〒699-0201  
島根県松江市玉湯町玉造331  
TEL. 0852-62-0711  
<https://www.choseikaku.co.jp/>

長生閣の一番のセールスポイントは玉造温泉ならではの四季折々が感じられる環境で従業員一人ひとりがそれぞれの持ち味を生かしながら働くことができる点です。島根県にお越しくださったお客さまのご旅行をより良いものにするために、それぞれがよりよいおもてなしをし、お客様から直接「ありがとうございます」のお言葉を頂けたり、アンケートに書いて頂けると、とてもやりがいを感じられます。





09

インタビューを受ける人

Interviewee

株式会社フェズ  
迫田 梓沙さん

メディア部所属。自社のFXサイトや大田市の定住サイト、企業紹介などの記事を担当。

※FXの専門家や銀行員を中心とした編集陣が、FX初心者をサポートするサイト

### 1 Report

PR記事やインタビューなど幅広く執筆



消費者の「選択のものさし」となるWEBメディアを運営しているフェズ。迫田さんは、大田市の企業のPRや定住情報などの記事を担当しています。やりがいを感じるのは、自身が作成した記事の順位が上がったときや、読者に長い時間読んでもらったとき。また、「大田市の定住サイトのインタビューをしていく中で、地域の方々に顔を覚えてもらっていたときにも喜びを感じます」と話します。分かりにくい表現は使わないようにし、小学1年生でも理解できるように書くことを意識。またネット記事を書く際は読み飛ばされないよう簡潔に書くことに気を付けているそうです。

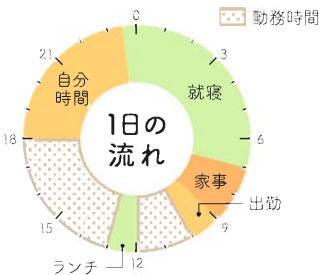


WEBを活用した  
情報発信で消費も  
地域も元気にする  
メディアプランナーを取材!

### 2 Report

即行動、即レスポンスで業務をスムーズに

心がけているのは、即行動、即レスポンス。その理由は、「自身がそれを心がけることで仕事相手もすぐに行動できると思うから」。メールやLINEの返信を早くすることで仕事のやり取りがスムーズになり、時間の短縮になったり、仕事を早く終わらせることができるようになるのが良いそうです。また、「指示待ち人間にならないように、進んで行動し情報を取りに行くことも大切にしています」と自身のポリシーを教えてくださいました。



※株式会社フェズはフレックスタイム制をとっているため日によって仕事時間が変化する。

### 3 Report

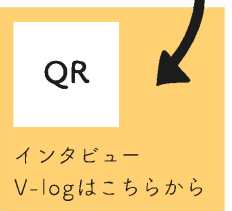
一歩ずつの成長がやりがいにつながる



入社したばかりの頃は1つの記事しか手がけられなかった迫田さんですが、約1年半で分析業務や他の社員が書いた記事の校正など、できる仕事が増えていったそうです。

部内ではチャットを使ってコミュニケーションすることが多く、記事の出来や感謝を伝え合うことで自身への評価を感じられるようです。また、記事の順位が上がると東京本社の社員にも見てもらえるようになり、やりがいを感じるそうです。

Check



インタビュー  
V-logはこちらから

### アピールポイント

フルフレックス・フルリモート制度を導入しているので、ライフスタイルに合わせた働き方ができます! 自宅・カフェ・オフィスなど自分が集中できる環境で仕事ができますよ。また、年齢・立場関係なく意見を言い合える会社なので、コミュニケーションも活発でとても働きやすい環境だと思います!



株式会社フェズ  
〒694-0064  
島根県大田市大田町大田1259-5  
TEL.0854-86-8211  
https://fez-inc.jp/



## Reporter



社会福祉法人 壽光会 たいしゃ保育園  
**長廻 敦子さん**  
 着任6年目。1歳児クラスを担当し、生活のサポートや楽しく学べる遊びの提供などを行っている。

ふるさとを愛する  
 優しく元気な子どもを  
 育てる保育園  
 6年目の保育士を取材!

### 1 Report 実習で出会った素敵な先生を目標に

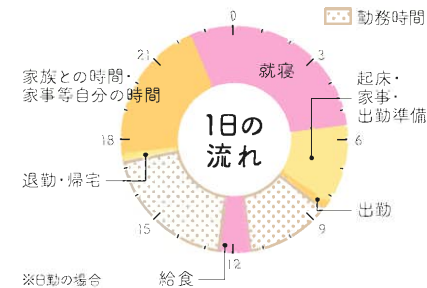


長廻さんは小学生の頃から小さい子が好きで、高校から大学に上がるタイミングで「保育士になりたい」と考え始めました。大学の実習で訪れた園で尊敬できる先生と出会い、その気持ちがより一層強くなりました。その先生は常に笑顔で、強い言葉を使わず、プラスの言葉や優しい言葉を使って園児と話をする人でした。その様子を見て素敵だと思い、保育士になってからは自身でもそのことを意識して園児に接するようにしているそうです。



### 2 Report 何でも相談できる「エルダー制度」

職員の働きやすさを大切にするための取り組みがあるたいしゃ保育園。その一つは有給休暇の取りやすさです。一日休みだけではなく、半日の休みを取ることも可能です。長廻さんはお子さんが2人いるのですが、病気になった時などに休暇を取れるので助かっているそうです。新人職員に先輩職員が1対1で寄り添う「エルダー制度」もあり、仕事の悩みはもちろんのこと、プライベートの相談もでき、精神的にサポートしてもらうことができます。

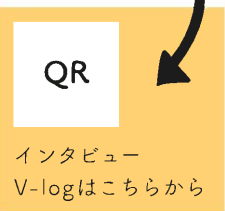


### 3 Report 新しいことを恐れず挑戦してほしい!



子どもが減っている島根県。「安心して子育てできる環境が整えば、少子化は改善するかもしれません。それには保育士の存在が必要不可欠だと思っています。保育士として保護者との関わりを大切にしながら、少しでも状況を改善させていきたいです」と長廻さんは話します。

新しい環境での出会いが大切なので新しいことへの挑戦を怖がらず、自分の気持ちに素直になって行動することを今の学生に伝えたいそうです。「新型コロナウイルス感染拡大のような大変な状況を乗り越え、成長してほしいと思います」とエールを送ってくれました。

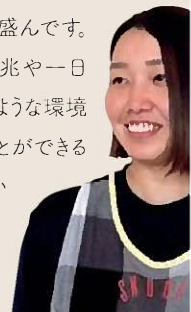


### アピールポイント



社会福祉法人 じほこうかい たいしゃ保育園  
 〒699-0711 島根県出雲市大社町竹葉南1235  
 TEL.0853-53-2423  
<http://jukokai.jp/hoikuen/>

幼・小・中と隣接しており、日頃から交流活動が盛んです。ダンス・水泳・英語等の教育活動や子ども吉兆や一日参りなどのふるさと活動に力を入れています。そのような環境で子どもたちの成長を、保護者と共に見守ることができる仕事に喜びと誇りを感じています。女性が多い職場ということもあり、半日有給やエルダー制度など働きやすい環境が整えられています。



# 11 Interviewee

インタビューを受ける人

# Reporter

レポートする人

光正羽音

上野春華

川井柚奈

ダットジャパン株式会社  
野津 美月さん  
CSソリューション事業部  
松江センター所属、  
SV(スーパーバイザー)。

ダットジャパン株式会社  
豊田 恵美さん  
CSソリューション事業部  
松江センター所属 リーダー

ソフトウェア開発と  
コールセンター業務で  
企業活動をバックアップ  
スーパーバイザーを取材!

## 1 Report 充実の教育システムでSVを育成



ダットジャパンでは、積極的に正社員の受け入れを行っています。コールセンター業務の経験がなくても問題なく業務が進められるように、研修制度など成長できるシステムを作っているそうです。入社後はマインド研修でスタッフのベクトルの統一を図り、その後ランクアップに向けバックオフィス研修やSV(スーパーバイザー)研修も。野津さんはSV・豊田さんはリーダー。業務運営の管理やオペレーターの指導、業務支援マニュアルの管理、緊急時の対応、応対品質の維持や管理など幅広い業務に携わっています。



## 2 Report 積み上げた経験と学びが仕事に活きる



野津さんは学生の頃からコールセンターでアルバイトをしていました。そのため入社後は、言葉遣いやイントネーションなどの指導なしで問題なく仕事ことができました。パソコンのスキルはまだ未熟なので、アルバイト時代に身につけておけばよかったと思うそうです。

豊田さんはビジネス専門学校に通っていました。「学んだことを全面的に使えているかは分からないのですが、学ぶ大切さをこの会社に入って感じました。一つ言うならば海外など、外を見る経験を入社前にたくさん積みたかったなと思います」と話していました。

## 3 Report 無理しすぎない就活を…地元企業もぜひ!

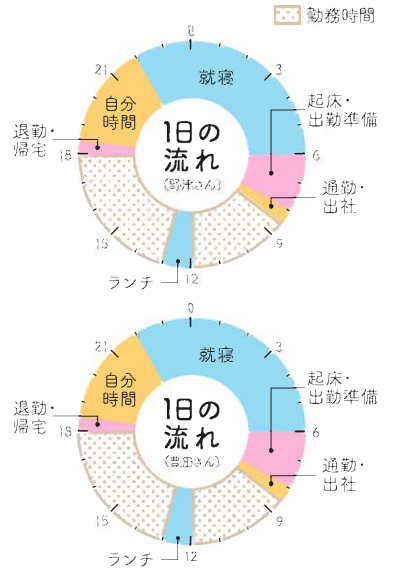


就活生へのアドバイスを聞いてみたところ、野津さんは頑張りすぎないことを勧められました。「就職活動の不安からいろいろな業界にエントリーすると、予定が詰まって疲れてしまいがち。また、自分の行きたい業界の研究ができなくなるので、好きな業界に焦点を絞るといいと思います。」

豊田さんは、「魅力的な会社は地元にも必ずあります。まずはやってみて『楽しいな』と思える会社を見つけることが大事。コロナ禍を通して、地元にも魅力的な企業があることを知って欲しいです」と前向きになれるヒントを教えてくださいました。

## アピールポイント

弊社では、「ワーク・ライフ・バランスplus 企業認証」を取得しております。特に女性の活躍、正社員の女性比率を増やすこと、働きやすい環境づくりに向け様々な施策を実施しております。また、女性の管理者、女性幹部を育成にも力を入れており、未経験からスタートした方も多く活躍しております。



Check

QR

インタビュー V-logはこちらから



ダットジャパン株式会社  
〒690-0887 島根県松江市殿町111番  
松江センチュリービル7階  
TEL. 011-330-3500  
https://www.datt.co.jp/



株式会社玉造温泉まちデコ  
**神門 葵さん**  
 コスメブランド「姫ラボ」WEB 事業部、チーフ(係長職)。  
 通販会社への講演依頼や受け入れなども担当。



美肌の湯・玉造温泉から  
 コスメやカルチャーで  
 キレイ&ステキを届ける  
 WEB担当者取材!

**1 Report**  
 刺激やリフレッシュにつながる制度

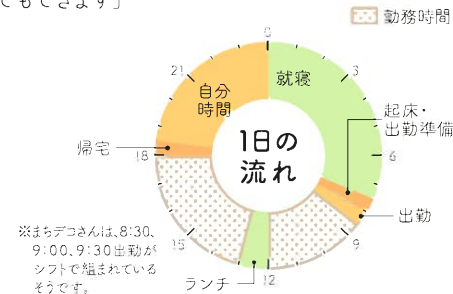


まちデコには「子ども手当」や「ランチ手当」など社員のためのいろいろな取り組みがあります。「ランチ手当」は1回の出勤につき1枚支給される、玉造温泉街の加盟店で使える300円分のランチチケットです。「もちろん300円の値引きは大きいですし、とてもいい手当だと思います」と神門さん。これによって、社内にもって仕事をしているスタッフが温泉街を訪れる機会ができたり、別の部署のスタッフと一緒にランチに行きコミュニケーションのツールになったり、お客さんと話すネタになったりもしています。



**2 Report**  
 平日の休みを自分らしく上手に過ごす

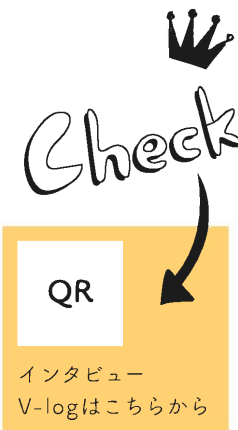
同社は基本的に週休2日ではなく、ひと月にランダムで8日休みがあります。神門さんはそのうち3日は美容院に行くなどの予定を入れ、2日は身体の回復につとめるため完全に休むようにしているそうです。また今は新型コロナウイルスの感染防止のため控えています。休みを1日使って旅行に行くことも。「平日の休みも多くの人が休む土日と同じように良さがあり、自分がやろうとさえ思えばなんでもできます」と話していました。



**Report**  
 足を運び、自分の目で見て就活を!



大学の情報科学部で統計学を学んでいた神門さん。学生時代に得た知識とスキルは、通販におけるデータ解析(テキストマイニング)で役に立ち、大学の学びを実践の場で使えているそうです。入社2年目でリーダー(主任)に抜擢され、3年目でチーフ(係長)になりました。就活生へのアドバイスを聞いたところ、「働きたいと思った会社実際に仕事の内容を聞いたり、職場を訪問したりと、自分の目や耳で確認することが大切だと思います」と主体性を持って活動することを勧めてくれました。



株式会社玉造温泉まちデコ  
 〒699-0201 島根県松江市玉湯町玉造46-4  
 TEL.0852-61-1556  
<https://www.tama-machideco.com/>

**アピールポイント**

男性が不向きということではありませんが、まちデコで取り組む仕事は、些細なことでも、“女性ならではの視点”が多く生かせると思います。“これ可愛い!”とか(笑) また、体調のことなども女性ならではの気遣いと共感力でみんながサポートしてくれるので働きやすい職場です♪



# 13 Interviewee

インタビューを受ける人



サン電子工業株式会社  
金子 あみさん



サン電子工業株式会社  
竹内 好実さん

サン電子工業株式会社  
吉村 真里さん

# Reporter

リポーターする人



高崎友理奈

江口美月

勝部梨厘加



国内外で使われる  
電子部品や精密機械を製造  
優れた品質を支える  
女性社員を取材!

Start

## 1 Report

ふるさと島根に貢献したい!

POINT



高校卒業後、広島で就職した吉村さん。「生まれ育った島根で働きたい」「大好きな地元で貢献したい」という思いが強くなり、仕事を探していたところ、たまたま目に留まったのがサン電子工業の求人でした。その当時は企業説明会などがなく、とりあえず入社して働いてみたいと職場の雰囲気などが分からない状況でした。現在は出荷に関わる部分を担当。1つの荷物を梱包するだけでも手順が多く、作業のためには移動を伴います。また梱包した荷物を運ぶなど体力が必要ですが、努力の評価がやりがいにつながっているそうです。



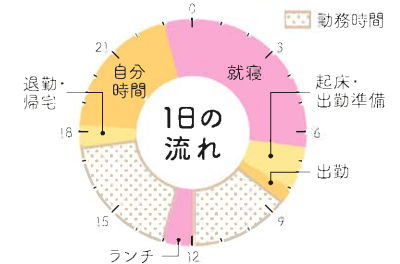
## 2 Report

繊細な検査作業…スキルアップとともに精度も向上

電子部品の検査を担当している竹内さん。業務中はずっとレンズを覗き込んで製品を見ているので、目をたくさん使うことによる疲れを感じる事が多いそうです。そのような担当業務ならではの苦労はありますが、不良品を早期発見できたときはやりがいを得られます。仕事を始めたばかりのころは、ゆっくりとしか検査を進めることができず目が疲れるのも早かったのですが、月日がたつごとに作業にも慣れ、だんだんと検査のスピードが上がっていったそうです。



REWARDING



## 3 Report

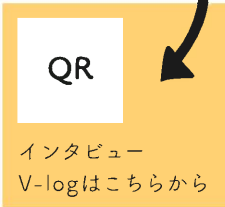
スキルアップでき、女性も働きやすい環境



サン電子の人事評価制度は、自己評価をするだけでなく、自身に対する上司からの評価も知ることができます。評価を知ることによって、自分が思っているよりも高く評価されていることや、もっと頑張るべきところに気づくことができ、モチベーションアップにつながります。

産休や育休で人手が足りなくなってしまっても他工程から応援が来るので、現場も休む人も安心です。トイレや更衣室がきれいであることも嬉しいポイントです。

Check



インタビュー  
V-logはこちらから

## アピールポイント

野菜ジュースの提供や睡眠チェックなどの健康経営の取り組みや、福利厚生が充実していますので安心して長く働ける会社です。それに加え、あらゆる研修制度が確立されていますので、将来にわたって自分自身を成長させてくれる会社でもあります。トイレや更衣室もきれいで、社員のチームワークも良く、働きやすい職場環境の中で充実した毎日を送っています。



サン電子工業株式会社 益田工場

〒698-2144 島根県益田市虫廻町0320-54  
TEL. 0856-28-8080  
<https://www.sunelec.co.jp/>



14

Interviewee

インタビューを受ける人

株式会社しちだ・教育研究所

永井 晶子さん

2009年入社。海外の教室の契約や運営などを行う国際部所属。2013年より課長職。



Reporter

高崎友理奈

江口美月

勝部梨厘加

独自の教育メソッドで  
子どもの才能を育む教室を  
国内・海外で展開  
国際部ベテラン社員を取材!

1 Report

コミュニケーションの工夫で、海外パートナーとの業務を円滑に

DEVSING



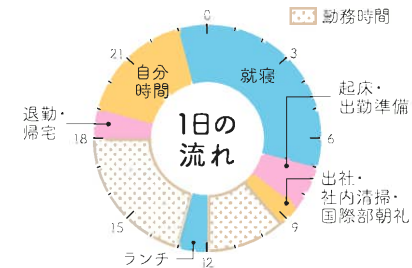
19の国と地域で教室を展開している「しちだ・教育研究所」。永井さんは海外のオーナーや指導者とやり取りを行うことで海外教室の運営をサポートしています。永井さんが大切にしているのは、相手のことを考え信頼関係を築くこと。海外の方との価値観の違いに苦労することもあります。期限を早めに伝えたり、言葉遣いや伝え方などコミュニケーションを工夫し、それぞれの文化に対応できるよう心掛けています。また、ラオス・ミャンマーなどの教室運営に携わることで、間接的に途上国に支援できることがやりの一つだそうです。



2 Report

プライベートは趣味に熱中。オン・オフの切り替えで毎日充実

永井さんの趣味は多彩で、特に最近熱中しているのは習字とヨガ。習字は「メールやSNS社会の現代だからこそ手書きで上手に書けるようになりたい」と思い、5年前から始めました。ヨガは仕事終わりなどに自宅でも毎日行い、始めたころに比べると断然体が柔らかくなったそうです。また、美術鑑賞や旅行も好きで、有給休暇を利用して美術館に行ったことも。会社は残業が少なく有給休暇が取りやすいため、オンとオフの切り替えがしやすく、プライベートも充実しているそうです。



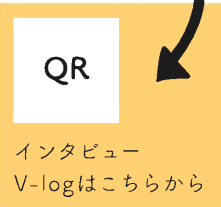
3 Report

女性が輝き、成長できる環境

女性社員が働きやすく、スキルアップの機会に恵まれているところが同社の魅力。国際部は7人のメンバーが在籍し、2人が産休・育休を取っているそうです。メンバーの過半数が女性社員で年齢・性別・社会歴も様々。チームワークが良く、助け合いながら仕事を分担しています。また、国際部は業務が多岐にわたる部署なので、成長できる機会に恵まれています。セミナー制度があり、新入社員も安心して働き、スキルアップできる環境です。



Check



アピールポイント



株式会社しちだ・教育研究所  
〒695-8577 島根県江津市江津町526-1  
TEL.0855-52-4803  
<https://www.shichida.co.jp/>

私たちのお客様は、日本中、そして世界各地にいらっしゃるの、江津市という地方都市にいなから、日々の業務や出張を通じ、様々な出会い、刺激が得られます。年齢や性別の垣根なく、活躍の機会が与えられるので、自分を成長させるにも最適の環境です。





# 15 Interviewee

インタビューを受ける人



三菱マヒンドラ農機株式会社  
**松田 千紗穂さん**  
 品質統括部、営業技術課所属。  
 異業種から転職。新入社員や販売  
 店への研修など、得意な英語を  
 使った業務に携わる。



三菱マヒンドラ農機株式会社  
**坂本 愛理さん**  
 人事総務部、人事勤労課所属。  
 東京から島根にUターン。人事制度  
 の導入・運営などに携わる。一児  
 の母。

## Reporter

レポートする人



世界の食と農を支える  
 農業機械の老舗メーカー  
 グローバルなビジネスに  
 携わるスタッフを取材!

Start

### 1 Report

メリハリをつけてオン・オフ共に充実



松田さんは入社3年目。仕事をしていくうえで自社製品である農機具や関連する機械についての知識が必要なので、プライベートでも常に勉強しているそうです。もともと英語が好きで、業務内で海外とのやり取りもあるため、英語の勉強にも力を入れています。自分のために使える時間は、勉強の他に趣味であるゲームを楽しんでいます。最近ハマっているのは『あつまれどうぶつの森』。「自由な時間をやりたいことに費やすことで、仕事とのオン・オフのメリハリをつけることができます」と話していました。



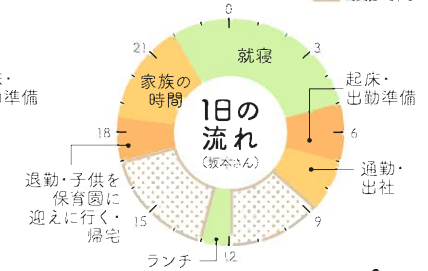
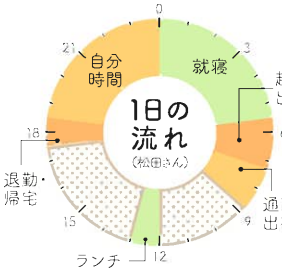
### 2 Report

ふるさとに戻り、グローバルな仕事を

以前は東京で旅行会社に勤めていた坂本さん。結婚を機にUターン、世界各国とつながるグローバルな仕事に惹かれて同社に就職しました。「東京と松江、どちらにも違った良さがありますね。都会は人の数が多いのでたくさんの刺激を受けることができました。松江はきれいな街ですし、時間が穏やかに過ぎていくように感じます。また、人が温かく、仕事もリラックスできています。都会でやりたいことはやり切ったと感じ、『地元へ貢献しよう!』とUターンをすんなり決断することができました」と坂本さんは話します。



勤務時間



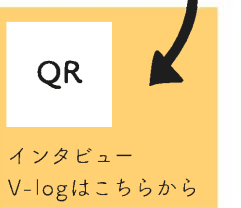
### 3 Report

夫婦二人三脚の育児で日々邁進



仕事と育児を両立している坂本さん。大変なこともあります。夫婦で手を取り合って頑張っているそうです。「夫も料理や保育園の送迎などを行っています。女性だけが育児を頑張る時代は終わっていると思います。“一緒にがんばる”というスタンスですね」と坂本さんは笑顔を見せます。働きやすいのには職場の理解も大きいそうです。島根県がイクメンランキング\*1位になった情報や島根県は共働きの家庭が多いという話も交えながら、「皆さんも積極的に育児に取り組んでいるからかもしれませんね」と話してくれました。

\*イクメン白書2019 <https://www.sekuisuihouse.co.jp/ikukyu/research/>



インタビュー  
 V-logはこちらから

### アピールポイント

フレックスタイム制度やテレワーク、育児短時間勤務など、ワーク・ライフ・バランスを取りながら働きやすい環境を整えています。育児休業復帰後も休業前と変わらず活躍する事ができますよ。



三菱マヒンドラ農機株式会社

〒699-0195 島根県松江市東出雲町揖屋667-1  
 TEL. 0852-52-2111  
<https://www.mam.co.jp/>

